

## 創設・取締役会長 Chairman of Aquarius Energy

Chang Chieh Hang



### 主な経歴

現在、シンガポール国立大学 Institute for [Engineering Leadership](#) 所長  
2007～2016年、シンガポール国立大学エンジニアリング&テクノロジーマネジメント学科長  
2001～2003年、シンガポール科学技術研究院副議長  
1977～2000年、シンガポール国立大学、工学部電気工学科長、  
1994～2000年、シンガポール国立大学、副学長。  
1974～1977年、Shell Eastern Petroleum Company (シンガポール) と Shell International Petroleum Company (オランダ) のコンピュータおよびシステム技術者として勤務。

### 公的機関

1991年～1999年、シンガポール国家科学技術委員会の創設副会長に任命され、シンガポールの産業界のために国内の研究機関やセンターを設立する。  
2001年～2009年、シンガポール知的財産局の創設会長を務めた。  
2002年～2006年、シンガポールIPアカデミーの創設会長を務めた。

### 民間企業

MMI Holdings Ltd、Advanpack Solutions Pte Ltd、Trek2000 Int'l LtdおよびIntegrated Plastics Technology Limitedの理事であった。  
現在、Amplus Communication Pte Ltd、Ampere Vehicles Pte Ltd、Dou Yee Enterprises (S) Pte Ltdの非執行取締役会長であり、Trendlines Group Ltdの取締役でもあり、イノベーションに基づく医療と農業技術に投資し、インキュベーションを行う。革新的技術分野において、彼の技術と経営の専門知識を駆使して、AIと3D印刷の分野で多くの中小企業や新興企業の顧問も務めている。

### 学歴・褒章

1970年、シンガポール大学で電気工学のファーストクラスの優等学位を卒業。

その後ロイヤル・コミッションの海外奨学金のもと、ワーウィック大学で学び、博士号を取得。

1998年、米国電気電子学会フェロー、英国工科大学ロイヤルアカデミーの外国人メンバーに選出。

1998年、シンガポール政府行政勲章（金）

2000年、国家科学技術勲章を受賞。

2004年、IES / IEEE Medal of Excellenceを受賞。

2008年、公共サービス勲章を受賞。

## シンガポール国立大学（National University of Singapore、

略称：NUS

1905年に設立されたシンガポールの総合大学。

シンガポール国内では西の南洋理工大学（NTU）とともにシンガポールの双璧をなす大学。Times Higher Education World University Rankings(THES-Qs)では、2016年はアジア1位と、日本の東京大学、京都大学を大差で上回り、アジアで最も高い評価を受けている。

東南アジア諸国、中国、欧米やアフリカなどを含め、100ヶ国以上からの留学生を迎え、非常に国際色豊かな大学である。11の学部とスクール、研究所、図書館、学生寮、食堂、病院、プールなどのレクリエーション施設などの建物が、緑に囲まれた広大な敷地内に集まっているNUSキャンパス。MBAにおいても2015年のフォーブスによる世界ランキングで7位、アジアで1位に入っている。一般に卒業生はシンガポール政府など官僚、金融セクター、その他グローバル企業に就職する人が多い。

## シンガポール科学技術研究庁

（Agency for Science, Technology and Research、A\*STAR、[中国語](#): 新加坡科技研究局）は[シンガポール](#)における科学技術研究の監督・支援を行う[法定機関](#)で、2002年に設立された。（この設立の生みの親がCCハング教授）

シンガポールではバイオテクノロジー、情報通信、エレクトロニクスなど特定の分野に集中した研究開発政策を進めており、A\*STAR は人材育成、研究開発の強化、国際的な人材交流や共同研究の促進、知的財産管理と技術移転システムの確立などのための活動を行っている。